年度記録篇

昭和八年度

当時の人とその技

今川敏夫

私の頃の柔道部（昭和元年～十一年）の運営は先輩諸氏の御援助もさることながら、専ら幹事を中心にして学生が自主的に行なっていたが、その技については永年の伝統を引継いで「足払い」や「大外刈」、就中足払いが盛んで上手な人が多かった。昭和八年卒の沖　革作氏（通称革ちゃん）の右脇を深く取って抱え込む感じの「小外刈」、「足払い」乃至「燕返し」は誠に強力なものであり、昭和六年大将五島三雄氏以下十五名の我が部の北陸武者修行では松本一中のOBだった清水正一師範（当時三段）も革ちゃんの鮮かな足払いにさんざん悩まされたものである。私もこの武者修行に参加し、清水さんと稽古した記憶がある。又、昭和三年の四校連合戦の際、当時一級で幼年組の紫帯も鮮かな革ちゃんが、四校軍の初段陣の黒帯八人を、足払、燕返し、払腰で総甜にした事は古い事ながら、記憶に新である。

昭和九年卒の「コーチン」こと上妻利男氏の大外刈、大内刈は破壊力抜群であった。私も先鋒として出場した昭和五年の第三回対早高戦には、大将に背負投の埼　幸男氏を擁し副将のコーチンは早高五将の高山二段との試合で、したたか頭を打って精神朦朧となりながら五将、四将を抜いた活躍が忘れられない。私も負けん気を出してよくコーチンに稽古をして貰ったものである。

昭和八年卒業生送別大会記念

昭和十年は我が部の大艦巨砲時代の始まりであった。鹿児島商業出身で剛力無双の俣野　清氏、猫が鼠をジャラすようにチラッと足癖を見せてからドカンと入いってくる素晴しい内股の田岡　協氏が入学して来た。私の同窓で年来の友であった佐久間知三氏の剃刀の様によく切れる左右の足払、腰業、大外刈も時には刃こぼれもしたが、良い切れ味で私も閉口した思い出がある。それは私が初段で「抜群」をした後、講道館の紅白試合の大将に抜躍され、意気揚々としていた時（この時私は稽古着の下にシャツを着て優勝旗を貰いに行き、徳　三宝師範に強く叱られた思い出がある。）、偶々部内試合で佐久間氏と対戦し、その右足払で痛い目にあったものである。当時部内に足払いの達人が多かった為か私も足払には免疫になり、有段者になってから足払で不覚を取った事は講道館三段の月次試合において早大の山本秀雄氏とこの佐久間氏との前後二回しか記憶にない。私と同年卒の箱田玄輔氏は成年組出身だが、その足払の痛い事天下一品で私など稽古では常に敬遠していたものだった。又、釣込足大外刈が得意の山公こと山本繁太郎氏、粘り強い千公こと千住栄一氏や長沢金次郎氏云う所の「黄色声（キナイ）」を出す秋山　正氏の背負投は、よく潰れはしたが得意であったし、左自然体か自護体で私の跳腰の絶好なバック台であった。「象さん」こと内海勝正氏は二段の時、彼得意の左大外刈、内股で三田警察署の道場開きに三段、四段を数人投げて特別賞を貰っている。又磯辺義介氏は試合の時真直にスッスッと歩いて行って、相手が素直に退けばその引き足を右体落しで鮮かに投げたが、思うように退がらなければ手古摺ってしまうという人だった。私が卒業した昭和十一年から後は、正に努級戦艦時代となった。藤川氏、姶良氏に続いて幼年組から羽島輝久氏、鹿児島からは赤塚氏、湊商業からは飛田氏が入ってきた為、本来ならば一線級となるべき、其他の艦艇の陰が薄くなる時代であった。

私の一年後輩の金ちゃんこと長沢金次郎氏の「ヨイヨイ」という掛け声もろともやって来る鈎で切る様な大外刈、この外田中良平氏得意の抱落しも特異なものであった。彼の金ちゃんが昭和十一年春の先輩現役戦で私が大将、彼が

副将で出場し、先輩軍の大将阿部英児氏に美事な空気投を喰った事も思い出される。二年後輩の古屋幸三氏の私の業によく似た大外刈、跳腰、同じく羽島忠久氏の組手は違うが私と同系統の大外刈、中野先生が「花火の様な柔道」と評した岡崎俊祐氏の跳腰、大外刈、足払も圧巻であって、正に足許に爆竹を仕掛けられたような感じであった。この業で早高戦に大将として偉大な戦果を上げたのである。岡崎俊祐氏と同年の毛利松平氏は鉄筋コンクリートのビルの様な柔道であったが、いつも圧倒的優勢に相手を痛めつけていたので、現在の様な審判規程なら連戦連勝であったろう。

二年後輩の熊谷喜徳氏は全くの「左」で私も稽古に骨を折ったが、その左跳腰は粘り強く強力で私がその引き手を切るのに肋間筋を切ってしまい、長い間包帯のまま試合に出るはめになった事があった。熊谷氏より、更に数年後輩で石渡顕一氏、羽鳥輝久氏、磯辺晃平氏と同じ頃になるが、幼年組の児玉一男氏の「ギャア」と云う奇声と共に掛けてくる往年の樋口良作氏張りの小内刈は特異なものであった。同氏は今も尚、昔以上に元気で稽古し、特に幼年組の指導に力を注いでくれている。

卒業後の私は会社と兵役でこの人達の試合振りを眼の辺に見る事が出来なかったが僅かに余暇をみて大沢克夫監督率いる普通部の北関東遠征に審判員として随行し、普通部四年生の羽鳥輝久氏が全員有段者で固めた当時北関東随一を誇る桐生中の先鋒から大将陣の二、三段までを得意の釣込腰、小内刈で総甜にする快挙を観る事が出来た。この戦績は翌日の地方紙に大きく掲載され、次の対戦相手の足利中の先生から特に点採り試合を要望されるなど正に北関東中学柔道界を震憾させたものであった。

昭和十一年に大日本製糖に入社した私は同窓の寝技が得意の塩田雄一四段と共に武徳殿竣工記念台湾南北対抗戦に出場して優勝し、津田越前守と云う太刀をせしめる等卒業後も柔道を続けていたが、学生時代の中野先生の教えが正

に役立った事件があった。それは社用でジャワへ出向いた際のジャカルタでの事である。その時ジャカルタでは、「パッサム・マラム」というお祭りが催されて居り、路上の特設リングで柔道が行なわれていた。折からのお祭りで黒山の人だかりのリング内では、日本より派遣されている何れも黒帯の警察官と現地人の青年団が対戦して居り、現地人のうち一人の大きな男が、レスリング張りに警察官を突きころがし、見物人のヤンヤの喝采を浴びている最中であった。暫し見物していたが、どうにも警察官に勝ち味がない。私も当時は若く日本柔道の為些か義憤を感じ、いかにすべきかを考えていたが、この時中野正三先生の言葉を思い出したのである。先生は昭和六年の北陸武者修行の際、武者修行の心得として「強い者に対して、致命傷を与える事である。そうすれば他の者はこれを観て気力が喪失し、後の者との稽古が楽になる。」と教えられたのである。私は徐に警察官より稽古着を借り、一番強い者を指命した。案の条、例の大きな男が出て来た。最初は相手の好きな様に引張り廻されるだけ、引張廻させておき、ジックリと機を見て跳腰で頭からガツンと落とし、ビックリして立上がる所を更に大外刈で一発そして又跳腰で一発と投げ飛ばした所、たちまち戦意を喪失し降参した。ここで留めを刺すべく残りの連中を引張り出したが、どれも皆御大将の惨敗に意気阻喪していて、こちらが何を掛けても転がる有様で十余人程いた連中を総甜めにして面目を施した。

思えばあの時中野先生の訓を知らずば面目を施す事が出来たか否か、或いは私にとって惨な結果となったかも知れないと冷汗が流れる事であった。幸にして柔道部は良い先生に恵まれている。部員諸君は諸先生の何気ない片言集句も頭に収めておいて斯道に邁進して貰いたい。昭和九年の末か十年の春頃、飯塚国三郎先生自ら私に超倒流の投の形、五の形を御教授して下さった。当時は実戦的でない形式的なものと思って特に身を入れなかったのであるが、今にして思えばこれこそ、「つくり」、「崩し」の真髄というか、柔道の心があったと思うし、もう少し一生懸命に習っておけば良かったと今更ながら後悔している次第である。

役員

部長　柴田一能
師範　飯塚国三郎
〃　中野正三
幹事　加藤靖夫
安東喜四夫
沖革作
上妻利男

進級月次試合

一月二十一日

九級の部

1	芝房徹哉	引分	宮原巧次郎
2	宮原巧次郎	袈裟固	○守谷育介
3	○守谷育介	大外刈	川口隆二
4	守谷		○久保田次郎
5	○久保田次郎	袈裟固	飯田博通
6	久保田	引分	和島欣八
7	○和島欣八	払腰	馬場英介
8	和島	引分	秋山進吉
9	○秋山進吉	合技	泉康夫
10	△秋山	引分	加藤三郎

八級の部

11	○秋山進吉	袈裟固	鈴木昇
12	秋山	体落	○黒川正男
1	○調健二	押込	渡辺三郎
2	調	引分	笠原季雄
3	笠原季雄	引分	加藤健造
4	加藤健造	引分	山本儔
5	山本儔	引分	浅野勝蔵
6	浅野勝蔵	大外返	○富樫虎雄
7	富樫虎雄	引分	秋元栄三郎
8	秋元栄三郎	合技	○仁村弘
9	仁村弘	合技	○佐野茂
10	佐野茂	足払	○内海昭勝
11	○内海昭勝	足払	曾我部精二
12	内海	引分	渡辺徹夫
13	○渡辺徹夫	燕返	黒沼穣
14	○渡辺	大外刈	太田三四郎
15	○渡辺	崩横四方	鈴木一郎
16	渡辺	引分	木村太郎
17	○木村太郎	大外返	海東次郎
18	木村	引分	松本善次郎

七級の部

1	中沢信夫	引分	大角輝夫

五級の部

5	田中	引分	海東致道	
4	○田中勉	大外返	吉川昂	
3	富樫	引分	田中勉	
2	富樫一也	引分	杉本	
1	羽鳥輝久	引分	杉本健三	

六級の部

17	△田川	引分	井上喜世男	
16	○田川茂	大外刈	笠原慶太郎	
15	中島蔵治	引分	田川茂	
14	窪田羊三	体落	○中島蔵治	
13	神浦法太	引分	窪田羊三	
12	加藤	引分	神浦法太	
11	○加藤一夫	大内刈	吉田弘文	
10	玉木	大内刈	○加藤一夫	
9	△玉木	引分	仁科弘	
8	有川健夫		○有川健夫	
7	島津	合技	○玉木蔵七	
6	○島津太郎	腰投	榎本孝一	
5	石渡顕一	引分	島津太郎	
4	児玉一男	引分	石渡顕一	
3	永田幸治郎	引分	児玉一男	
2	中沢信夫	大外刈	○永田幸治郎	

四級の部

1	乳井龍二	引分	秋山辰馬	
2	秋山辰馬	押込	○加藤利雄	
3	加藤利雄	引分	茂木秀郎	
4	茂木秀郎	大外刈	○谷徳蔵	
5	谷徳蔵	引分	立脇忠命	
6	立脇忠命	引分	早乙女為男	
7	早乙女為男	体落	○内海啓勝	
8	内海啓勝	引分	森岡二郎	
9	森岡二郎	引分	峰岸豊雄	
10	峰岸豊雄	引分	金沢壮二	
11	金沢壮二	引分	山田清三	

三級の部

1	○久繁善則	合技	木下三八郎	
2	久繁	引分	内海勝正	
3	久繁	引分	菅原誠	

1	守谷一郎	体落	○湯池貞俊	
2	○湯池貞俊	大外巻	宇田達	
3	湯池	押込	○玄田権七郎	
4	玄田権七郎	引分	加藤祐三	
5	○加藤祐三	内股	加藤信三	
6	加藤	引分	須賀明数	
7	須賀明数	引分	神浦滔太	

4 菅原　誠　合技　○山田房夫
5 山田房夫　引分　山田正典

二級の部

1 鈴木春雄　大内刈　○横田作弥
2 横田作弥　引分　岡島龍吾
3 ○横田　大外刈　飯田武二
4 横田　引分　田中淳一郎
5 田中淳一郎　腰投　○臼井　博
6 ○臼井　博　内股　秋山　正

平素の勉励と月次試合の成績に依り進級せし者左の如し。

一月二十三日

九級へ　飯田博通、川口隆二、馬場英介
八級へ　秋山進吉、吉田弘文、泉康夫、花房徹哉、宮原巧次郎、守谷育介、久保田次郎、黒川正男、和島欣八
七級へ　富樫虎雄、仁科　弘、内海昭勝、渡辺徹夫、木村太郎、中島譲二
六級へ　有川健夫、玉木徳七、窪田羊三、笠原慶太郎、田川　茂
五級へ　富樫一也、田中　勉
四級へ　加藤祐二、須賀明数、神浦濤太、乳井龍二
乙組へ　岩崎貞吉
甲組へ　森民　雄
三級へ　森岡次郎、峰岸豊雄、金沢壮二、山田清三
二級へ　久繁善則、山田房夫、山田正典、鈴木春雄
一級へ　横田作弥、田中淳一郎、臼井　博

卒業生送別試合

二月十一日（土）

幼年組の部

先鋒　飯田博通　引分　先鋒　川口隆三
荒木　茂　腰投　○松下義蔵
○神谷伝八郎　崩上四方　松下
○神谷　合技　馬場英介
神谷　引分　花房徹哉
○和島欣八　袈裟固　宮原巧次郎
和島　引分　山本　壽
○本田乾一　袈裟固　笠原季雄
本田　引分　黒沼　穣
加藤健造　引分　鈴木一郎
調　健二　合技　○篠塚光春
北野井田次郎　引分　篠塚
佐野　繁　引分　黒川正男
山崎　泰　引分　曾我部精二
秋山進吉　引分　田中治平

松本善次郎	引分	中須四郎
大関和雄	引分	椎川浩一
木村太郎	引分	成清達也
大角輝男	引分	海東太郎
○中沢信夫	払腰	早津富司
中沢	燕返	○仁村弘
鈴木康吉	足払	○仁村
○渡辺徹夫	足払	仁村
渡辺	引分	内海昭勝
○石渡顕一	足払	榎本孝一
石渡	大腰	○児玉一男
○永田幸治郎	足払	児玉
○永田	合技	岡田敏夫
神浦泫太	引分	加藤
中村勇次	引分	島津太郎
有川健夫	引分	井上喜世男
○笠原慶太郎	押込	仁科弘
笠原	引分	玉木徳七
○吉川昂	大外刈	窪田羊三
吉川	引分	羽鳥輝久
富樫一也	引分	杉本健造
宇田達	引分	田中勉

副将	引分	副将
守谷一郎	引分	湯池貞俊
大将○加藤信三	合技	大将玄田権七郎
成年組の部		
先鋒○森民雄	腰投	先鋒茂木秀朗
森	大内刈	○谷徳蔵
乳井龍二	大内刈	○谷
○加藤利雄	押込	谷
加藤	押込	○立脇忠命
早乙女為男	引分	立脇
神浦涛太	引分	森岡二郎
峰岸豊雄	押込	○松内則明
山田清三	引分	松内
木下三八郎	引分	内海勝正
○品田義治	腰投	近藤正
品田	送襟絞	○菅原誠
久繁善則	押込	○菅原
○山田房夫	押込	菅原
山田	釣込腰	○山田正典
○飯田武二	内股	山田
飯田	引分	岡島龍吾
横田作弥	引分	秋山正
田中淳一郎	燕返	○臼井博
小西和夫	引分	臼井

中野英一　内股　○大沢克夫
○磯辺義介　体落　大沢
磯辺　浅見力　引分　山本繁太郎
○大矢知金之助　大外刈　○古屋幸三
○大矢知大矢知佐久間知三　押込　古屋
送襟絞　羽鳥忠久
引分　箱田玄輔
○峰岸猛　小内刈　○熊谷喜徳
峰岸　内股
○今川敏夫　抱落　○田中良平
○今川　大外刈　田中
払腰　阿部泰介
○今川　体落　中村仙一郎
○今川　跳腰　鈴木俊吉
○今川　小内刈　野田倉三
体落　○長沢金次郎
今川康吉　払腰　○長沢
樋口良作　引分　長沢
副将沖革作　引分　副将岡崎俊祐
大将○上妻利雄　押込　大将五島勇雄

七人掛全勝

○大外刈　箱田玄輔(2)
×傷分　熊谷喜徳(2)
○足払　鈴木俊吉(2)
四段沖革作　○足払　阿部泰介(2)
○燕返　磯辺義介(2)
○小外刈　佐久間知三(3)
○足払　今川敏夫(3)

八人掛全勝

○　羽鳥忠久(2)
○　田中良平(2)
○　箱田玄輔(2)
○　古屋幸三(2)
五段上妻利男　○(技記録なし)　阿部泰介(2)
○　峰岸猛(2)
○　大矢知金之助(3)
○　長沢金次郎(3)

平素の勉励と月次試合の成績に依り進級せし者左の如し

二月十五日

八級へ　松下義蔵、神谷博八郎
七級へ　椚川浩一、大関和雄、成清達也、海東次郎
六級へ　永田幸治郎、島津太郎、神浦宏太、加藤一夫、中村雄次　四級へ　加藤信之

三級へ　谷　徳蔵、立脇忠命、早乙女為男
二級へ　菅原　誠

進級月次試合

二月二十一日

九級の部

1	○荒木　茂	合技	川口隆三
2	荒木	引分	佐藤明博
3	佐藤明博	引分	玉村禎男
4	○玉村禎男	袈裟固	鈴木　昇
5	玉村	足払	○馬場保夫
6	馬場保夫	合技	○岡本一郎

八級の部

1	○松下義雄	大腰	花房徹哉
2	松下	引分	山本　儔
3	山本　儔	左足払	○加藤健造
4	○加藤健造	袈裟固	渡辺三郎
5	加藤	合技	○神谷博八郎
6	○神谷博八郎	大外巻	中須四郎
7	神谷	大内刈	○山崎　泰
8	○山崎　泰	上四方	本田乾一
9	山崎	引分	太田三四郎
10	太田三四郎	引分	高浪喜八郎
11	高浪喜八郎	引分	古内恒弥

七級の部

1	椚川浩一	引分	古内恒弥	大外刈
2	内海昭勝	引分	黒川正男	合技
3	大角輝男	引分	秋山進吉	釣込足
4	鈴木康吉	大外刈	酒井章夫	引分
5	○木村太郎	大外刈	○佐野　繁	合技
6	木村	大外返	佐野	引分
7	△渡辺徹夫	引分	井上喜世男	○渡辺徹夫
8	渡辺	引分	石渡顕一	
9	石渡顕一	引分	児玉一男	
10	児玉一男	引分	仁村　弘	
11	仁村　弘	引分	鈴木才一郎	

六級の部

1	島津太郎	引分	永田幸治郎
2	永田幸治郎	引分	加藤一夫
3	加藤一夫	引分	中村雄次

4 中村雄次 引分 玉木徳七
5 玉木徳七 引分 有川健夫
6 有川健夫 大内返 ○羽鳥輝久
7 羽鳥輝久 引分 杉本健造
8 杉本健造 引分 島津太郎

五級の部

1 宇田達 引分 田中勉
2 田中勉 引分 富樫一也
3 富樫一也 左大外刈 ○永浜庄次
4 永浜庄次 引分 玄田権七郎
5 玄田権七郎 大外刈 ○守谷一郎
6 守谷一郎 大内刈 ○湯池貞俊
7 ○湯池貞俊 大外刈 宇田達

四級の部

1 須賀明数 引分 神浦濤太
2 須賀 引分 森民雄
3 森民雄 大外返 ○加藤利雄
4 ○加藤利雄 押込 堀越総一
5 ○加藤 合技 茂木秀郎
6 加藤 送襟絞 ○内海通勝
7 内海通勝 払腰 ○松島精三
8 松島精三 引分 神浦濤太

三級の部

1 早乙女為男 釣込足 ○立脇忠命
2 立脇忠命 大内刈 ○谷徳蔵
3 谷徳蔵 引分 金沢壮二
4 金沢壮二 大外巻 ○木下三八郎
5 木下三八郎 釣込足 ○内海勝正
6 ○内海勝正 大外巻 品田義治

二級の部

1 ○久繁善則 払腰 鈴木春雄
2 久繁 釣込腰 ○山田正典
3 山田正典 引分 飯田武二
4 飯田武二 引分 山田房夫
5 △山田房夫 引分 岡島龍吾
6 山田 背負投 ○秋山正

平素の勉励と月次試合の成績に依り進級せし者左の如し。

二月二十五日

八級へ 荒木茂、馬場保夫、岡村一郎、玉村禎男（編入）
七級へ 加藤謙造、神谷博八郎、山崎泰、太田三四郎、高波喜八郎、黒川正男、秋山進吉、酒井章夫、佐野繁、倉持皐二（編入）
六級へ 木村太郎、渡辺徹夫、仁村弘
五級へ 杉本健造
四級へ 湯池貞俊

三級へ　加藤利雄
二級へ　内海勝正
一級へ　秋山　正

進級月次試合

五月三日

八級の部

1	山本儔	引分	荒木茂	
2	荒木茂	袈裟固	○久保田次郎	
3	久保田次郎	引分	山本儔	
4	△久保田	引分	渋沢米雄	
5	○久保田	袈裟固	渡辺三郎	
6	久保田	引分	黒沼穣	
7	△黒沼穣	引分	玉村禎男	
8	黒沼	引分	梶芳雄	
9	○梶芳雄	大外刈	岡本一郎	
10	梶	大外刈	○松本善治郎	
11	松本善治郎	大外刈	○早津富司	

七級の部

1	加藤健造	合技	○神谷博八郎	
2	○神谷博八郎	大外刈	太田三四郎	
3	神谷	引分	大角輝男	
4	○大角輝男	袈裟固	仁村弘	

5	大角	引分	黒川正男	
6	△黒川正男	引分	内海昭勝	
7	黒川	合技	○児玉一男	
8	児玉一男	引分	高波喜八郎	
9	高波喜八郎	引分	榎本孝一	
10	榎本孝一	引分	鈴木康吉	
11	鈴木康吉	引分	石渡顕一	
12	石渡顕一	引分	酒井章夫	
13	酒井章夫	引分	村中淳治	
14	○村中淳治	大外返	大西栄一	

六級の部

1	○渡辺徹夫	足払押込	加藤一夫	
2	渡辺	引分	永田幸治郎	
3	永田幸治郎	引分	神浦泓太	
4	○神浦泓太	合技	有川健夫	
5	神浦	引分	中村雄次	
6	中村雄次	体落	○八木明	
7	八木明	足払	○玉木徳七	
8	○玉木徳七	小内刈	木村太郎	
9	玉木	合技	○小坂俊雄	

五級の部

1	小坂俊雄	引分	富樫一也	
2	△富樫一也	引分	杉本健造	

3 ○富樫一也 足払 守谷一郎
4 富樫 引分 宇田達

四級の部

1 神浦濤太 引分 乳井龍二
2 乳井龍二 背負投 ○内海啓勝
3 内海啓勝 引分 茂木秀郎
4 ○茂木秀郎 背負投 須賀明数
5 茂木 引分 △内海通勝
6 内海通勝 体落 ○神浦濤太

三級の部

1 立脇忠命 引分 △菅原正幸
2 菅原正幸 引分 加藤利雄
3 ○加藤利雄 内股 金沢壮二
4 ○加藤 大外返 山田清三
5 加藤 合技 ○猪谷甫

二級の部

1 内海勝正 引分 久繁善則
2 久繁善則 引分 岡島龍吾
3 岡島龍吾 大外返 ○山田正典
4 山田正典 大外刈 ○飯田武二
5 飯田武二 締 ○本間太郎

平素の勉励と月次試合の成績に依り進級せし者左の如し。

九級へ 高橋幹夫、渡辺博
八級へ 斉藤誠一、荒木和雄
七級へ 山本儔、久保田次郎、梶芳雄、松本善次郎、早津富司
六級へ 児玉一男、榎本孝一、鈴木康吉、村中淳治
五級へ 玉木徳七、小坂俊雄
二級へ 猪谷甫
丙組へ編入 田代進一郎、横尾佳道、吉田弘文
乙組へ編入 宇賀正春
四級へ編入 岡田健太郎

新入部員歓迎春季大会

五月十四日

幼年組の部

先鋒 ○金安信太郎 押込 先鋒 富田芳雄
○金安 押込 加藤正男
金安 引分 武石長雄
森功 押込 ○望月正午
藤瀬喜久雄 合技 ○望月
○磯部春保 足払 望月
磯部 引分 木崎匡一
谷村嘉一郎 大内返 ○長井誠太郎

鳥海志郎　大腰
鈴木弘体　落
橋木慶三郎　引分
深山幸助　引分
野原好三　引分
藤野陽一　引分
内藤芳房　引分
秋山照高　引分
○磯辺晃平　横四方
磯辺　　引分
川口隆三　押込
飯田英夫　引分
馬場英介　引分
宮原巧次郎　大外刈
松下義蔵　押込
荒木茂　引分
黒沼穆　引分
山本儔　引分
太田三四郎　引分
梶芳夫　引分
中沢信夫　引分
松本善治郎　引分
○石渡顕一　押込

○長井
○長井　長井
横原正氏
西谷彬
針生俊夫
山崎門次
玉村元男
横田繁三郎
立岡豊吉
○玉村禎男
玉村
中須四郎
○楢崎正彦
楢崎
斎藤誠一
加藤健造
内海昭勝
神谷博八郎
仁村弘
大角輝雄
黒川正男

石渡
酒井章夫　引分
児玉一男　大内返
加藤一夫　引分
木村太郎　払腰
玉木徳七　払腰
○小坂俊雄　払腰
○小坂　大外押込
○小坂　大外押込
小坂　引分
○小坂　大内返
○富樫一也　合技
富樫　引分
守谷一郎　不戦

成年組の部

横尾佳道　先鋒
宇賀正春　左大外刈
高田増太郎　合技
○内海通勝　押込
○内海　大内刈
内海　引分
秋山辰馬　合技
乳井龍二　大外刈

佐野繁　引分
榎本孝一　引分
○窪田羊三　大内返
窪田　引分
○笠原慶太郎　払腰
○笠原　払腰
笠原
有川健夫　大外押込
村中淳治　大外押込
神浦法太　大内返
杉本健造　引分
宇田達　合技
永浜庄次　引分
篠原恭敬　引分
○矢島正　左大外刈
○矢島　合技
矢島
湯池貞俊　大内刈
立脇忠命　引分
○谷徳蔵　合技
○谷　大外刈

○内海啓勝　足払　谷
内海　小外刈　○峰岸豊雄
金沢壮二　合技　○峰岸
坂原太郎　跳腰　○峰岸
○菅原正幸　払腰　峰岸
菅原　合技　○久繁善則
山田清三　引分　久繁
○飯田武二　左内股　山田正典
○飯田　払腰　岡島龍吾
飯田武二　内股　○横田作弥
内海勝正　引分　横田
○本間太郎　背負投　笹間猶興
○本間　押込　大沢克夫
本間　引分　副将　関準
秋山正　大外刈　大将○古屋幸三
菅井良介　内股　○古屋
副将　小西和夫　引分　古屋
大将　熊谷喜徳　不戦

五人掛全勝
初段　田中良平
○大外刈　山田清三
○合技　笹間猶興
○膝車　横田作弥

○大外刈　菅原正幸
○跳腰　金沢壮二

八人掛全勝
三段　岡崎俊祐
○跳腰　清川晃(初)
○払腰　熊谷善徳(初)
○一本背負　石井(2)
○合技　野田倉三(2)

○跳腰　関準(初)
○跳巻　箱田玄輔(初)
○大外刈　小西和夫(初)
○合技　鈴木完(初)

平素の勉励と紅白試合の成績に依り進級せし者左の如し。

五月二十日

八級へ　金安信太郎、磯部春保、磯辺晃平、川口隆三、飯田英夫、馬場英介
七級へ　中須四郎、秋元栄三郎、黒沢穣
七級へ編入　楢崎正彦、長井誠太郎、望月正平
六級へ　仁村弘、大角輝男、中沢信夫、石渡顕一
五級へ　笠原慶太郎
四級へ　宇田達、富樫一也、永浜庄次、守谷一郎、矢島正
三級へ　内海啓勝、内海通勝
二級へ　峰岸豊雄
一級へ　飯田武二、本間太郎

普通部対日本中学対抗試合

五月二十日　於日本中学道場

普通部　　日本中学

先鋒　守谷一郎　合技　先鋒○篠
永浜庄次　足払　○篠
宇田達　引分　篠
矢島正　引分　小林
富樫一也　大外刈　○李
○谷徳蔵　左大外刈　李
○谷　大内刈　安藤
谷　大内返　○小山
茂木秀郎　跳腰　○小山
神浦濤太　引分　小山
副将○岡島龍吾　横四方　小俣
○岡島　送襟絞　高橋
岡島　大内返　○三浦
大将○笹間猶興　大内刈　三浦
○笹間　合技　副将浅野
笹間　払腰返　大将○柳田

普通部対高輪中学対抗試合

五月二十七日　於網町道場

普通部　　高輪中学

先鋒　富樫一也　引分　先鋒斎藤
○矢島正　左大外刈　鈴木
○矢島　合技　松橋
矢島　引分　新見
守谷一郎　合技　○池田
谷徳蔵　縦四方　○池田
○永浜庄次　大外刈　池田
永浜　引分　須山
○茂木秀郎　大外刈　西田
茂木　引分　八巻
神浦濤太　引分　副将古川
木下三八郎　引分　大将須賀
副将岡島龍吾　不戦
大将笹間猶興　不戦

進級月次試合

六月七日

九級の部

1　富田芳雄　引分　藤瀬喜久雄
2　富田　押込　○藤野陽一
3　藤野陽一　押込　○谷村嘉一郎
4　○谷村嘉一郎　押込　横田正氏
5　谷村　引分　加藤正男

6	加藤正男	引分	武石長雄
7	武石長雄	引分	木崎匡一
8	木崎匡一	押込	○鳥海志郎
9	鳥海志郎	返技	○馬場英介
10	馬場英介	大外刈	○高木慶三郎
11	高木慶三郎	押込	○西谷彬
12	西谷彬	押込	○高橋幹夫
13	高橋幹夫	合技	○山崎門次
14	山崎門次	押込	○玉村元男
15	玉村元男	押込	○横田繁三郎
16	横田繁三郎	押込	渡辺弘
17	横田	合技	○野原好三
18	野原好三	体落	針生俊夫
19	○野原	押込	内藤芳房

八級の部

1	磯部春保	引分	金安信太郎
2	磯部	引分	川口隆三
3	○川口隆三	左大外刈	金安信太郎
4	川口	袈裟固	○荒木茂
5	荒木茂	引分	飯田英夫
6	荒木	体落	○磯辺晃平
7	磯辺晃平	絞	○松下義雄
8	松下義雄	引分	渋沢米雄
9	渋沢米雄	袈裟固	○玉村禎男

七級の部

1	渡辺三郎	引分	山本儔
2	山本儔	大外返	○加藤健造
3	加藤健造	大外返	○原田庄弥
4	○原田庄弥	押込	内海昭勝
5	原田	引分	望月正午
6	望月正午	引分	早津富司
7	早津富司	引分	太田三四郎
8	早津	内股押込	○黒川正男
9	○黒川正男	大外刈	成清達也
10	黒川	引分	神谷博八郎
11	○神谷博八郎	大内返	松本善治郎
12	神谷	大外刈	○佐野繁
13	佐野繁	引分	酒井章夫
14	酒井章夫	引分	大西栄一
15	○大西栄一	足払	楢崎正彦
16	○大西	大外刈	荘英介
17	○大西	払巻	坂本和明

六級の部

1	○大角輝雄	押込	仁村弘
2	○大角	大外刈	鈴木康吉
3	大角	引分	児玉一男

4 児玉一男　引分　石渡顕一
5 石渡顕一　引分　有川健夫
6○石渡巴投　村中淳治
7 石渡　引分　木村太郎
8 木村太郎　引分　神浦泓太
9 神浦泓太　引分　島津太郎
10 島津太郎　引分　羽鳥輝久
11 島津　大外返　○加藤一男
12○加藤一男　大外刈　仁科弘
13 加藤　大外刈　○中山秀雄

五級の部

1 笠原慶太郎　背負投　○玉木徳七
2○玉木徳七　小内刈　杉本健造
3 玉木　押込　○小坂俊雄
4 小坂俊雄　大外刈　○田中勉

四級の部

1 守谷一郎　引分　須賀明数
2 守谷　引分　富樫一也
3 富樫一也　大外刈　○須賀明数
4 須賀明数　引分　湯地貞俊
5 湯地貞俊　合技　○永浜庄次
6 永浜庄次　左大外刈　○加藤祐二
7 加藤祐二　引分　秋山辰馬

三級の部

8 秋山辰馬　跳腰　○茂木秀郎
9○茂木秀郎　背負投　乳井龍二
10○茂木　背負投　岡田健太郎
11△茂木　引分　矢島正嗣
12 茂木　引分　神浦濤太
1 立脇忠命　上四方　○内海啓勝
2 内海啓勝　大外刈　○谷徳蔵
3○谷徳蔵　内股　坂原太郎
4 谷　引分　森岡二郎
5 森岡二郎　払巻　○木下三八郎
6 木下三八郎　引分　山田清三
7 木下　引分　菅原正幸

二級の部

1△猪谷甫　引分　内海勝正
2 猪谷　支釣込足　○久繁善則
3 久繁善則　引分　山田房夫
4 山田房夫　引分　岡島龍吾
5 岡島龍吾　大外返　・山田正典

平素の勉励と月次試合の成績に依り進級せし者左の如し。

六月八日

九級へ　海老沢利夫、筒井保、清水壮造、染谷公、乳井

省四郎

八級へ　小川常一、岸田睦夫、藤野陽一、谷村嘉一郎、鳥海志郎、馬場英介、高木慶三郎、西谷彬、高橋幹夫、山崎門次、玉村元男、横田繁三郎、野坂好三

七級へ　松下義雄、渋沢米雄、玉村禎男、荘英介、坂本和明

六級へ　原田庄弥、神谷博八郎、佐野　繁、大西栄一

五級へ　中山秀雄

四級へ　田中　勉

三級へ　茂木秀郎、神浦宏太

対四校連合試合の中止

大正元年六月二日網町道場に於てその第一回が行はれて以来、第二一回に亘る好試合は三田の風物詩でもあったが、逐次各校の実力も比肩するに及び昭和七年を最後に恒例の対四校連合定期戦は年中行事から姿を消した。

抑々対四校連合試合は飯塚師範の斡旋と統制の下に当時の日蓮宗大学（立正）、水産講習所（水産大学）、東京高等工業学校（東工大）、農業大学の四校連合軍と本塾の間に行われて来たものである。因みにその戦績を看れば本塾の一八勝二敗一引分となっている。

今後は各校間の親睦を図り、本試合の歴史を持続するため毎年六月第一土曜日網町道場に於てリーグ戦を行い、終了後混合稽古並に親睦晩餐会を行うと中止決議書は述べている。

三校（農大・工大・水産）対二校（立正・慶応）対抗試合

六月十日　於　網町道場

先鋒	○佐　藤（農）	右大外刈先鋒	木下　三八郎
	○佐　藤（農）	右大外刈	菅原　正幸
	○佐　藤（農）	払腰	谷　徳蔵
	○佐　藤（農）	内股	峰岸　豊雄
	佐　藤（農）	左大外刈	○勝丸（立）
	江　村（農）	引分	勝丸（立）
	渡　辺（農）	内股	○内海　勝正
	阿　部（水）	引分	内海
	東　（農）	引分	松野（立）
	○庄　（水）	小外刈	久繁　善則
	○庄　（水）	背負投	長田（立）
	庄　（水）	払腰	○山田　房夫
	高　橋（水）	跳巻	○山田
	松　石（農）	内股	○山田

桑野（水）　引分　山田
宮田（水）　左跳腰　○大森（立）
住吉（農）　左内股　○大森（立）
白石（農）　足払　○大森（立）
仁保（水）　引分　大森（立）
高橋（水）　大外刈　○岡島龍吾
藤村（工）　引分　岡島
高木（初）（工）　跳腰　○高橋（立）
○上野（初）（水）　左大外刈　高橋（立）
上野（水）　釣込腰　○山田正典
田村（初）（水）　絞　○山田
○田村（水）　絞　山田
田村（水）　引分　横田作弥（初）
奥田（初）（農）　右大外刈　○笹間猶興（初）
○福地（初）（農）　右内股　笹間
○福地（農）　左内股　関準（初）
福地（農）　左大内刈　○臼井博（初）
○金丸（初）（農）　大外返　臼井
○金丸（農）　巴投　石丸（立）（初）
○金丸（農）　巴投　飯田武二（初）
○金丸（農）　崩上四方絞　小堀（立）（初）
金丸（農）　引分　菅井・菅井良助（初）
増田（初）（農）

木内（初）（農）　引分　宇田（立）（初）
○李（初）（農）　腕関節技　秋山正（初）
李（初）（農）　背負投　○敷田（立）（初）
本間（初）（水）　足払　○敷田（立）
○佐藤（初）（水）　足払　敷田（立）
佐藤（水）　右内股　○大沢克夫（初）
○清水（初）（農）　絞　大沢
清水（農）　絞　○大山（立）（初）
○小川（初）（農）　腕関節技　大山（立）
小川（農）　押込　○本間太郎（初）
○高橋（初）（水）　足払　本間
高橋（水）　大外刈　○山本繁太郎（初）
北山（初）（農）　足払　○山本
宮沢（初）（農）　合掌　山本
○宮沢（農）　合技　○野田（立）（初）
石黒（初）（農）　引分　野田
野中（初）（水）　引分　山内恒夫（初）
有動（初）（水）　引分　近藤漸（初）
三浦（初）（農）　引分　西（立）（初）
田原（初）（農）　引分　小西和夫（初）
浪江（初）（農）　引分　箱田玄輔（初）
○藤野（初）（農）　右跳巻　丸岡（立）（初）
○藤野（農）　絞　田中良平（初）

藤野（農）　左大外　○熊谷喜徳(初)
○高木(初)(水)　背負投　熊谷
高木（水）　大外刈　○古屋幸三(2)
江川(2)(工)　引分　古屋
平井（農）　引分　磯辺義介(2)
○高木(2)(農)　右跳腰　高橋(立)(2)
高木（農）　大外刈　○羽鳥忠久(2)
○平戸(2)(農)　右跳腰　羽鳥
○平戸（農）　跳腰返　上田(立)(2)
平戸（農）　左大外刈　○兼子辰夫(2)
田部(2)(農)　左内股　○兼子
松崎(2)(農)　引分　兼子
稲田(2)(工)　引分　藤山(立)(2)
石田(2)(工)　引分　石井幸太郎(2)
○関川(2)(農)　小外刈　野田倉三(2)
関川（農）　崩上四方　○毛利松平(2)
塚口(2)(水)　引分　毛利
吉田(2)(工)　右払腰　○岡崎俊和(3)
一野(3)(工)　引分　岡崎
○谷口(3)(農)　一本背負　今川敏夫(3)
谷口（農）　引分　塩田雄一(3)
副将　川瀬(3)(工)　引分　副将　佐久間知三(3)
大将　中田(4)(農)　引分　大将　崎幸男(4)

法政大学対本塾予科練習試合

六月二十日　於　網町道場

本塾予科　8――6　法政大学

先鋒○本間太郎(初)　背負投　先鋒　佐藤(初)
飯田武二(初)　合技　○朝倉(初)
関準(初)　引分　大野(初)
○近藤漸(初)　跳腰　明石(初)
秋山正(初)　引分　蔭山(初)
菅井良助(初)　引分　西谷(初)
鈴木完(初)　引分　泉(初)
○臼井博(初)　内股　宮沢(初)
○小西和夫(初)　大内刈　小川(初)
○田中良平(初)　返技　千葉(2)
熊谷喜徳(初)　押込　○平林(2)
北川正次(2)　大内刈　○松浦(2)
○古屋幸三(2)　大外刈　崔(2)
○兼子辰夫(2)　釣込足　飯守(2)
羽鳥忠久(2)　押込　○新井(2)
毛利松平(2)　引分　有馬(2)
鳥海又六郎(3)　引分　菊池(2)
大矢知金之助(3)　絞　○田沢(2)
副将　梅沢正治(3)　十字固　副将○大西(3)

大将○長沢金次郎(3)　返技　大将恵藤(3)

進級月次試合

六月二十八日

無級の部

1 外山文夫　腰投　○小野善雄
2 ○小野善雄　押込　会田義徳
3 ○小野　押込　工藤忠平
4 小野　引分　二宮正

九級の部

1 筒井保　引分　藤瀬喜久雄
2 藤瀬喜久雄　合技　○田中久介
3 田中久介　押込　○筒井保
4 筒井保　引分　染谷公
5 ○染谷公　押込　内藤芳房
6 染谷　引分　針生俊夫

八級の部

1 藤野陽一　押込　○高木慶三郎
2 ○高木慶三郎　大外刈　馬場英介
3 ○高木　大外刈　飯田英夫
4 高木　引分　谷村嘉一郎
5 谷村嘉一郎　引分　山崎門次
9 ○山崎門次　押込　西谷彬

---

7 ○山崎門次　大外刈　金安信太郎
8 ○山崎　大外刈　磯部春保
9 ○山崎　押込　宮原巧次郎
10 山崎　引分　横田繁三郎
11 横田繁三郎　巴投　○岸田睦夫
12 岸田睦夫　引分　野原好三
13 ○野原好三　足払　川口隆三
14 ○野原　押込　荒木茂
15 野原　押込　○磯辺晃平
16 磯辺晃平　引分　斎藤誠一
17 斎藤誠一　引分　曾我部精二

七級の部

1 渋沢米雄　引分　山本儔
2 山本儔　釣込腰　○本下義雄
3 ○松下義雄　合技　渋谷米雄
4 松下　引分　加藤健造
5 加藤健造　引分　荘英介
6 荘英介　引分　松本善治郎
7 ○松本善治郎　左大外刈　黒川正男
8 松本　押込　○成清達也
9 成清達也　引分　早津富司
10 早津富司　大外返　○長井誠太郎
11 長井誠太郎　引分　楢崎正庄

六級の部

12 檜崎正彦 引分 酒井章夫
1 ○佐野繁 袈裟固 鈴木康吉
2 佐野 引分 原田庄弥
3 原田庄弥 払腰 ○大西栄一
4 大西栄一 釣込足 榎本孝一
5 ○大西 合技 大角輝男
6 大西 引分 △石渡顕一 児王一男
7 石渡顕一 引分
8 児玉一男 釣込足 ○永田幸治郎
9 永田幸治郎 合技 ○窪田羊三
10 ○窪田羊三 大内刈 神浦法太
11 窪田 背負投 ○渡辺徹夫
12 渡辺徹夫 引分 加藤一夫
13 加藤一夫 大外刈 ○羽鳥輝久
14 羽鳥輝久 袈裟固 ○中村雄次
15 中村雄次 引分 八木朗

五級の部

1 八木朗 巴投 ○中山秀雄
2 中山秀雄 体落 ○笠原慶太郎
3 笠原慶太郎 合技 ○玉木徳七
4 玉木徳七 引分 杉本健造

四級の部

1 宇田達 足払 ○田中勉
2 田中勉 引分 須賀明数
3 田中 引分 守谷一郎
4 守谷一郎 払腰 ○岡田兼太郎
5 岡田兼太郎 左大外刈 ○湯地貞俊
6 湯地貞俊 引分 永浜庄次
7 ○永浜庄次 背負投 加藤祐二
8 ○永浜 背負投 矢島正嗣

三級の部

1 茂木秀郎 引分 △立脇忠命
2 立脇忠命 引分 谷徳蔵
3 ○谷徳蔵 左大外刈 山田清三
4 谷 合技 ○加藤利雄
5 △加藤利雄 引分 菅原正幸
6 加藤 大外刈 ○木下三八郎

二級の部

1 山田房夫 引分 内海勝正
2 内海勝正 引分 岡島龍吾
3 岡島龍吾 内股 ○久繁善則
4 久繁善則 引分 山田房夫

平素の勉励と進級月次試合の成績に依り進級せし者左の如し。

六月二十九日

九級へ　外山文夫、会田善雄、工藤忠平、二宮　正
八級へ　小野善雄、田中久介、染谷公、筒井保、針生俊夫
七級へ　高木慶三郎、谷村嘉一郎、山崎門次、野原好三、磯辺晃平、斉藤誠一、曾我部精二
六級へ　酒井章夫、長井謀太郎、成靖達也
五級へ　大西栄一、窪田羊三、渡辺徹夫、羽鳥輝久、加藤一夫、八木　朗
四級へ　小坂俊雄
三級へ　永浜庄次
二級へ　谷　徳蔵、木下三八郎
一級へ　岡嶋竜吾、久繁善則、山田房夫

普通部対市立一中対抗試合

九月十九日　於　網町道場

普通部（技の記録なし）		市立一中
先鋒　中山秀雄	先鋒	○阿部
渡辺徹夫		○阿部
羽鳥輝久	引分	阿部
窪田羊三		○伊藤
○玉木徳七		伊藤
玉木		○尾田
笠原慶太郎	引分	尾田
小坂俊雄		○中川

富樫一也　○中川
矢島　正　引分　中川
宇田　達　○池田
守谷一郎　引分　池田
田中　勉　引分　恒岡
永浜庄次　○五斗
○茂木秀郎　五斗
茂木　○五十嵐
○神浦壽太　五十嵐
神浦　○遠藤
早乙女為男　引分　遠藤
○谷　徳蔵　森
谷　○尾上
○木下三八郎　尾上
○木下　石川
○木下　斎藤
○木下　湖上
○木下　石田
木下　○宮内
副将　岡島龍吾（初）　○宮内
大将　○笠間猶興（初）　宮内
○笠間　沖（初）
○笠間　藤（初）

○笠間　副将　薄田(初)
笠間　引分　大将　児玉(2)

進級月次試合

九月二十九日

九級の部

1 松内則浩　引分　会田義徳
2 松内　袈裟固　○深山幸雄
3 深山幸雄　大外刈　○外山文夫
4 外山文夫　引分　渡辺博
5 ○渡部博　大外刈　工藤忠平
6 渡辺　足払　○二宮正
7 ○二宮正　袈裟固　内藤芳房

八級の部

1 荒木茂　引分　筒井保
2 筒井保　引分　磯部春保
3 磯部春保　引分　荒木茂
4 ○荒木茂　左払腰　鳥海志郎
5 荒木　引分　横田繁三郎
6 横田繁三郎　引分　守谷育介
7 守谷育介　押込　○針生俊夫

七級の部

1 谷村嘉一郎　引分　山崎門次
2 谷村　大外刈　○野原好三
3 野原好三　引分　山崎門次
4 ○磯辺晃平　大外刈　渋谷米雄
5 △磯辺　引分　加藤健造
6 磯辺　引分　玉村禎男
7 玉村禎男　引分　太田三四郎
8 玉村禎男　引分　斎藤誠一
9 斎藤誠一　押込　○内海昭勝
10 ○内海昭勝　足払　荘英介

六級の部

1 佐野繁　引分　鈴木康吉
2 佐野　大外刈　○村中淳浩
3 村中淳治　大外返　○酒井章夫
4 酒井章夫　引分　長井誠太郎
5 長井誠太郎　大外刈　○神浦浤太
6 神浦浤太　引分　有川健夫
7 有川健夫　引分　△永田幸治郎
8 永田幸治郎　足払　○木村太郎
9 木村太郎　引分　石渡顕一
10 石渡顕一　引分　中村雄次
11 中村雄次　引分　原田庄弥
12 原田庄弥　引分　鈴木康吉

五級の部

1	窪田羊三	引分
2	渡辺徹夫	引分
3○	羽鳥輝久	合技
4△	羽鳥	引分
5	羽鳥	押込
6	杉本健造	引分
6	玉木徳七	引分

四級の部

1	越後谷一郎	引分
2	富樫一也	引分
3	湯地貞俊	大外刈
4○	田中勉	大外刈
5	田中	引分
6	守谷一郎	引分
7	加藤祐三	跳腰
8	矢島正	引分
9	岡田健太郎	合技

三級の部

1○	永浜庄次	返技
2	永浜	引分
3	神浦濤太	引分
4	森岡次郎	引分
5○	茂木秀郎	背負投

	渡辺徹夫
	羽鳥輝久
	笠原慶太郎
	中山秀雄
○	杉本健造
	玉木徳七
△	窪田羊三

	富樫一也
	湯地貞俊
○	田中勉
	須賀明数
	守谷一郎
	加藤祐三
○	矢島正
	岡田健太郎
○	越後谷一郎

	高橋清海	
	神浦濤次	
○	森岡次郎	
	茂木秀郎	
	立脇忠命	

6	立脇忠命	早乙女為男
7○	茂木秀郎	背負投
8	茂木	引分
9	加藤利夫	合技
10○	菅原正幸	縦四方
11	菅原	引分

二級の部

1○	木下三八郎	払腰
2	木下	引分
3○	内海勝正	大外返

	早乙女為男
	山田清三
	加藤利夫
○	菅原正幸
	高橋清海
	早乙女為男

	猪谷甫
△	内海勝正
	谷徳蔵

平素の勉励と進級月次試合の成績に依り進級せし者左の如し。

九月三十日

丙組へ　大塚誠、石井幸太郎、立岡豊吉
乙組へ　川島佐五郎、市川秀一
甲組へ　中島譲治
四級へ　越後谷一郎
三級へ　田中勉、高橋清海
二級へ　菅原正幸、茂木秀郎
一級へ　内海勝正

全日本中等学校柔道大会東京予戦

十月十五日　於　府立六中道場

試合経過の概要　普通部、商工学校共に第一予選を勝

ち進み、第二予選に於て両校対戦、引分の上代表戦となり、普通部笠間猶興初段対商工学校横田作弥初段にて勝負を決せんと死力を尽すも引分、抽籤に依り普通部が準々決勝に進み、海城中学を破って準決勝に進出したが、惜しくも府立七中に敗退す。

第二予選

普通部　商工学校

先鋒　茂木秀郎　小内刈　先鋒○久繁善則
○木下三八郎　大内刈　立脇忠命
岡島龍吾　横田作弥
副将○笹間猶興　釣込腰返　副将山田正典
大将　谷徳蔵　跳腰　大将○山田房夫
代表戦　笹間猶興　引分　横田作弥

（抽籤に依り普通部の勝）

準々決勝

普通部　海城中

先鋒　茂木秀郎　背負投　先鋒○徳江
○木下三八郎　大外返　吉見
○岡島龍吾　上四方　西山
副将○笹間猶興　大外刈　副将千見
大将　早乙女為男　引分　大将山田

準決勝

普通部　府立七中

先鋒　茂木秀郎　引分　先鋒篠原
木下三八郎　引分　拓
岡島龍吾　合技　○武田
副将○笹間猶興　大外刈　副将馬場
大将　早乙女為男　内股　大将○加藤

近県中等学校柔道大会

十月二十二日　於　横浜商業道場

試合経過の概要　第一予選は不戦勝、第二予選に小田原中を破り、準々決勝に進んで湘南中を降したが、準決勝で浜松商に敗る。

第二予選

普通部　小田原中

先鋒○茂木秀郎　背負投　先鋒茂木
○岡島龍吾　大外刈　星野
○谷徳蔵　大外刈　露木
○笹間猶興　大外刈　新田
○神浦涛太　合技　吉田
副将○木下三八郎　大外巻　副将村山
大将　早乙女為男　引分　大将神浦

準々決勝

普通部　湘南中

先鋒○茂木秀郎　背負投　先鋒出縄
○岡島龍吾　大内返　石井
谷　徳蔵　引分　小沢
○笠間猶興　合技　吉田
○神浦濤太　合技　添田
副将　木下三八郎　押込　副将○小池
大将　早乙女為男　払腰　大将○小島

準決勝

普通部　浜松商

先鋒　茂木秀郎　合技　先鋒○鈴木
岡島龍吾　引分　犬塚
谷　徳蔵　引分　鈴木
○笠間猶興　合技　袴田
神浦濤太　技不明　○横尾
副将　木下三八郎　押込　副将○川瀬
大将　早乙女為男　引分　大将　市川

後記　本日の試合終了後、大和屋二階に於て合宿解散の晩餐会を行い、山上ルームでの合宿を終了した。

監督　古屋　幸三

進級月次試合

十月二十四日

七級の部

11	二宮正	引分	小野善雄
10	飯田英夫	大外刈	○二宮正
9	染谷公	引分	飯田英夫
8	渡辺博	引分	染谷公
7	外山文夫	引分	渡辺博
6	藤野	合技	○外山文夫
5	○藤野	合技	鳥海志郎
4	○藤野	大外刈	西谷彬
3	○藤野	大内返	磯部春保

八級の部

1	筒井保	体落	○藤野陽一
2	○藤野陽一	合技	田中久介
9	松内	合技	○内藤芳彦
8	△松内則浩	引分	木崎匡一
7	会田義則	引分	松内則浩
6	武石長雄	引分	会田義則
5	松坂	足払	○武石長雄
4	△松坂	引分	加藤正男
3	○松坂	合技	清水壮造
2	○松坂進	大外刈	富田芳雄
1	海老沢利夫	合技	○松坂進

九級の部

1 荒木茂 袈裟固 ○横田繁三郎
2 横田繁三郎 合技 ○高木慶三郎
3 高木慶三郎 引分 谷村嘉一郎
4 △谷村嘉一郎 引分 渋沢米雄
5 渋沢米雄 合技 ○山崎門次
6 ○山崎門次 大外巻 山本儔
7 山崎 引分 野原好三
8 山崎 袈裟固 ・磯辺晃平
9 ○磯辺晃平 大外刈 玉村禎男
10 磯辺 引分 斎藤誠一
11 斎藤誠一 引分 荘英介
12 荘英介 引分 △黒川正男
13 黒川正男 大外刈 ○楢崎正彦
14 楢崎正彦 背負投 ○坂本和明
15 ○坂本和明 合技 早津富司

六級の部

1 加藤健造 引分 中沢信夫
2 加藤達也 大外刈 ○成清達也
3 成清弘 引分 仁村弘
4 仁村弘 引分 榎本孝一
5 榎本孝一 大外刈 ○佐野繁
6 佐野繁 引分 鈴木康吉
7 ○鈴木康吉 大外刈 内海昭勝

---

8 鈴木 引分 大角輝男
9 大角輝男 引分 村中淳治
10 ○村中淳治 大外刈 長井誠太郎
11 村中 背負投 ○児玉一男
12 児玉一男 大外刈 ○石渡顕一
13 ○石渡顕一 大外刈 有川健夫
14 ○石渡 合技 太田三四郎
15 石渡 引分 仁科弘
16 仁科 袈裟固 ○神谷博八郎

五級の部

1 ○大西栄一 足払 永田幸治郎
2 ○大西 合技 木村郎太
3 大西 引分 渡辺徹夫
4 渡辺徹夫 引分 八木朗
5 八木朗 引分 羽鳥輝久
6 羽鳥輝久 引分 窪田羊三
7 窪田羊三 袈裟固 ○杉本健造
8 杉本健造 引分 玉木徳七
9 玉木徳七 送襟絞 ○笠原慶太郎
10 笠原慶太郎 合技 ○中山秀雄

四級の部

1 湯地貞俊 引分 小坂俊雄
2 小坂俊雄 大外車 ○守谷一郎

3 守谷一郎　引分　須賀明数
4○須賀明数　大外落　富樫一也
5 須賀　　大外返　○加藤祐二
6 加藤祐二　引分　飯倉重任
7 飯倉重任　引分　宇田達

三級の部
1○立脇忠命　返技　内海啓勝
2 立脇　　合技　○加藤利雄
3 加藤利雄　引分　矢島正
4 加藤　　引分　神浦濤太
5○神浦濤太　合技　早乙女為男

二級の部
1 茂木秀郎　内股　○佐川藤太
2 佐川藤太　引分　△谷徳蔵
3 谷徳蔵　押込　○猪谷甫
4 猪谷甫　引分　木下三八郎

平素の勉励と進級月次試合の成績に依り進級せし者左の如し。

九級へ　杉山彰
八級へ　松坂進、武石長雄、内藤芳彦
七級へ　藤野陽一、二宮正
六級へ　磯辺晃平、黒川正男、楢崎正彦、坂本和明、早津富司
五級へ　児玉一男、石渡顕一
四級へ　玉木徳七、杉本健造、中島譲治、飯倉重任
二級へ　加藤利雄
一級へ　木下三八郎

第四十三回秋季大会

十一月三日

明治の佳節、恒例の秋季大会が網町道場に於て午前九時より盛大に挙行され、紅白試合は幼年組七十二名成年組三十名が出場、招待試合は有級者十六組有段者二十八組の他普通部対商工学校の定期戦が行はれた。

幼年組　紅　白

先鋒　石渡英二　引分　先鋒　林進
岡本二郎　引分　岡田定太郎
滝沢貞彦　引分　杉山彰
○松内則浩　押込　工藤忠平
松内　押込　○清水荘造
○会田義則　大外刈　清水
会田　引分　富田芳雄
海老沢利夫　秋山照高
○加藤正男　合技　田中治平

加藤	引分	深山幸助
○松坂進	合技	金安信太郎
松坂	押込	○鳥海志郎
染谷公	押込	○鳥海
○渡辺博	足払	鳥海
渡辺	引分	西谷彬
外山文夫	引分	岸田睦夫
小川常一	引分	飯田英夫
磯部春保	押込	○針生俊夫
調健二	引分	針生
藤野陽一	背負	○谷村嘉一郎
荒木茂	引分	谷村
○二宮正	大外刈	富樫一也
二宮	内股	○山崎門次
高木慶三郎	引分	山崎
山本儔	押込	○野原好三
玉村禎男	引分	野原
○磯部春保	内股	渋沢米雄
○磯部	大外刈	荘英介
磯部	引分	松本善治郎
坂本和明	引分	黒川正男
早津富司	引分	太田三四郎
加藤健造	袈裟固	○佐野繁

佐野	引分	内海昭勝
神谷博八郎	引分	中沢信夫
大角輝夫	引分	成清達也
鈴木康吉	合技	○仁村弘
○長井誠太郎	押込	仁村
長井	大外刈	○酒井章夫
○村中淳治	大外巻	酒井
村中	引分	有川健夫
児玉一男	引分	石渡顕一
神浦浜太	引分	中村雄次
○渡辺徹夫	燕返	永田幸治郎
渡辺	引分	窪田羊三
副将○羽鳥輝久	返技	副将八木朗
羽鳥	引分	大将中山秀雄
大将笠原慶太郎	不戦	
成年組 紅		白
先鋒吉田弘文	大外刈	先鋒○鈴木善男
服部	合技	○鈴木
大塚・	引分	鈴木
宇賀正春	袈裟固	○石井幸太郎
○越後谷一郎	大外返	石井
○越後谷	大内刈	立岡豊吉
○越後谷	大内刈	岡田健太郎

越後谷　絞技　○乳井龍二
○内海啓勝　大内返　乳井
○内海　袈裟固　高橋清海
○内海　袈裟固　大沼
内海　引分　峰岸豊雄
山田清三　崩上四方　○猪谷甫
菅原正幸　引分　猪谷
菅原誠　引分　丸山
内海勝正　小外刈　○杉原雪夫
田中淳一郎　押込　○杉原
関　準　合技　○杉原
副将○菅井良助　跳腰　杉原
○菅井　合技　本間太郎
○菅井　背負返　秋山正
○菅井　崩上四方副将　大沢克夫
菅井　合技大将　○近藤漸
大将山本繁太郎　引分　近藤

普通部対商工学校定期戦

普通部　商工学校

先鋒宇田達　引分　先鋒河島左五郎
守谷一郎　引分　玄田権七郎
○小坂俊雄　大外刈　大西栄一
○小坂　大内刈　中島譲治

小坂　引分　杉本健造
玉木徳七　払腰　○井上淳
富樫一也　引分　井上
田中勉　引分　湯地貞俊
永浜庄次　引分　須賀明数
矢嶋正　引分　加藤祐二
早乙女為男　引分　立脇忠命
神浦涛太　小外押込　○加藤利雄
谷徳蔵　引分　加藤
茂木秀夫　巴投　○山田房夫(初)
副将岡島龍吾(初)　木下三八郎　跳腰　○山田
大副笹間猶興(初)　引分　山田
不戦副将　山田正典(初)
不戦大将　久繁善則(初)
横田作弥(初)　横田

招待試合

有級者の部

1○山本(市一中)　内股　永浜庄次
2鋒山(市一中)　内股　○早乙女為男
3山本(日本中)　引分　立脇忠命
4小貫(明学)　左大外刈　○谷徳蔵
5中川(立正中)　引分　茂木秀郎
6中静(青学)　巴投　○猪谷甫

7 井上(青学) 合技 ○加藤利雄
8 大野(正則) 不戦 木下三八郎
9 渡辺(正則) 引分 山田清三
10 保科(立正中) 合技 ○加藤利雄
11 落合(秋元道場) 払巻 ○木下三八郎
12 弦巻(立正中) 縦四方 ○菅原正幸
13 内田(立正中) 足払 ○内海啓勝
14 細貝(秋元道場) 引分 峰岸豊雄
15 渡辺(明学) 背負投 ○茂木秀郎

有段者の部

初段の組

1 池上(秋元道場) 引分 岡島龍吾
2 ○三浦(日本中) 払巻 山田正典
3 ○石井(三田署) 絞技 清川晃
4 ○松山(三田署) 足払 秋山正
5 ○村田(国士館) 跳巻 大沢克夫
6 荒鳥(居坂署) 引分 関準
7 李(農大) 小外刈 ○菅井良助
8 宮沢(農大) 引分 田中良平
9 庄(水講) 合技 ○臼井博
10 山本(国士館) 釣込足 ○山本繁太郎
11 ○金丸(農大) 大内返 近藤漸

二段の組

1 朝倉(法政) 跳腰 ○毛利松平
2 吉田(中央) 合技 ○峰岸猛
3 ○秋山(中央) 横四方 阿部泰介
4 ○藤山(立正) 釣込腰 箱田玄輔
5 関川(農大) 大外刈 ○羽鳥忠久
6 菊池(沖電) 合技 ○熊谷喜徳
7 竹森(鳥居坂署) 返技 ○小西和夫
8 高木(水講) 大外刈 ○古屋幸三

三段の組

1 本関(国士館) 大腰 ○渡辺(至剛館)
2 ○辻(国士館) 合技 鳥海又六郎
3 ○小林(高師) 払腰 大矢知金之助
4 安藤(誠道館) 横四方 ○塩田雄一
5 ○岩科(早稲田) 合技 長沢金次郎
6 ○中村(国士館) 小内刈 佐久間知三
7 本間(皇警) 大外刈 ○今川敏夫

四段の組

1 加藤(国士館) 跳巻 ○阪口(至剛館)
2 ○柳沢(早稲田) 払巻 岡崎俊祐
3 深沢(高師) 引分 崎幸男

平素の勉励と紅白試合の成績に依り進級せし者左の如し。

十一月七日

九級へ　石渡英二、林　進、杉山　彰、岡本二郎、岡田定太郎、滝沢貞彦

八級へ　松内則浩、清水荘造、会田義徳、加藤正男

七級へ　鳥海志郎　六級へ　松本善次郎

五級へ　有川健夫、村中淳治

四級へ　中山秀雄、笠原慶太郎、玄田権七郎

三級へ　越後谷一郎、大沼、乳井竜二、守谷一郎、井上淳、須賀明敏、加藤祐二

二級へ　立脇忠命、内海啓勝

進級月次試合

十一月十七日

九級の部

1 海老沢　利夫　引分　△横原正氏
2 横原正氏　大外刈　○岡本二郎
3 岡本二郎　引分　玄田正郎
4 海老沢　利夫　引分　木崎匡一
5 秋山照高　背負投　○玄田正郎

八級の部

1 会田義徳　合技　○清水荘造
2 清水荘造　引分　加藤正男
3 加藤正男　引分　△田中久介
4 田中久介　右大外刈　○飯田英夫
5 飯田英夫　引分　小川常一
6 小川常一　引分　磯部春保
7 磯部春保　引分　内藤芳房
8 内藤芳房　合技　○松坂進
9 松坂　合技　○染谷公
10 松坂　大外刈　○外山文夫
11 △外山文夫　引分　西谷彬
12 △外山　引分　筒井保
13 外山　引分　渡部博
14 ○渡部博　大外刈　武石長雄
15 渡部　引分　岡本一郎
16 △岡本一郎　引分　笠原季雄
17 ○岡本　袈裟固　調　健二

七級の部

1 鳥海志郎　押込　○二宮正
2 ○二宮正　大外刈　藤野陽一
3 ○二宮　払腰　針生俊夫
4 ○二宮　袈裟固　荒木茂
5 二宮　引分　△横田繁三郎
6 横田繁三郎　引分　久保田次郎
7 久保田次郎　引分　谷村嘉一郎

8 谷村嘉一郎 引分 斎藤誠一
9 ○斎藤誠一 大外刈 渋沢米雄
10 斎藤 引分 野原好三
11 ○野原好三 袈裟固 高木慶三郎
12 野原 引分 山崎門次
13 山崎門次 引分 玉村禎夫
14 玉村禎夫 体落 ○秋元栄三郎
15 秋元栄三郎 引分 荘 英介

六級の部

1 松本善治郎 抱分 ○磯辺晃平
2 ○磯辺晃平 払腰 加藤健造
3 ○磯辺 内股 早津富司
4 磯辺 引分 黒川正男
5 黒川正男 横四方 ○内海昭勝
6 内海昭勝 引分 神谷博八郎
7 神谷博八郎 袈裟固 ○大角輝男
8 大角輝男 引分 榎本孝一
9 榎本孝一 合技 ○仁村弘
10 △仁村弘 引分 鈴木康吉
11 仁村 横四方 ○中沢信夫

五級の部

1 有川健夫 合技 ○村中淳治
2 村中淳治 引分 石渡顕一

---

3 石渡顕一 背負投 ○児玉一男
4 児玉一男 大内刈 ○神浦浤太
5 神浦浤太 引分 △永田幸治郎
6 永田幸治郎 引分 中村雄次
7 中村雄次 足払 ○大西栄一
8 大西栄一 引分 窪田羊三
9 窪田羊三 引分 △羽鳥輝久
10 ○羽鳥輝久 大外刈 木村太郎

四級の部

1 笠原慶太郎 絞技 ○川島佐吾郎
2 ○川島佐吾郎 合技 中山秀雄
3 △川島 引分 玉木徳七
4 川島 払巻 ○杉本健造
5 ○杉本健造 払腰 宇田 達
6 杉本 引分 湯地貞俊
7 ○湯地貞俊 大外刈 岡田健太郎
8 △湯地 引分 小坂俊雄

三級の部

1 加藤祐三 引分 乳井龍二
2 加藤 引分 △守谷一郎
3 △守谷一郎 引分 田中勉
4 守谷 内股 ○早乙女為男
5 早乙女為男 引分 石川禧夫

二級の部

1○立　脇　忠　命　大外返　茂木秀郎
2△立　脇　　引分　内海啓勝
3○菅　原　正　幸　跳腰　立脇忠命
4　菅　原　　合技　○谷　徳蔵
5　谷　徳　蔵　引分　猪谷　甫
6　猪　谷　甫　大外刈　○菅原　誠

参考資料

○　普通部及商工学校の練習試合に就て

当時の普通部商工学校共に年間十数回の対抗試合を行っているが、その中には一年生同志、二年生同志、或は三年生以下と言ったように（当時五年制）低学年生にも対抗試合を経験させる様、指導して居ることは注目に値いする。

○　慶応義塾柔道部史第一巻発刊、

明治初期和田塾（幼稚舎）に発祥した塾柔道部の部史が、佐野甚之助氏に依り、昭和七年までの五十五年間を八三五頁に第一巻として編集され昭和八年九月十五日三田柔友会より発刊された。